購入・レンタル

3つのご利用プランがあります。
ご年齢やお体の状況によって利用できるプランが異なります。

	レンタル （介護保険制度利用）	購入 （自費）	購入 （補装具費支給制度利用）
費用	モデルによって異なります。 詳しくは事業所へお問い合わせください。	HPをご確認ください	0円〜10万円 （買い切り）*
利用する制度名／サービス名	**介護保険制度** 介護が必要だと認定されれば、電動車椅子をレンタルする費用の9割が給付される制度です。	なし	**補装具費支給制度** 身体状況、年齢、職業、学校教育、生活環境等の諸条件を考慮して、電動車椅子の購入にかかる費用の一部または全部を市町村が支給する制度です。
対象となる年齢	・40歳〜64歳の方で、介護保険制度における特定疾病をお持ちの方 ・65歳以上の方	どなたでも	・39歳以下の方 ・40歳〜64歳の方で、介護保険制度における特定疾病をお持ちではない
対象となる身体状況	要介護認定を受けた方	どなたでも	身体障害者手帳をお持ちの方 指定難病をお持ちの方
手続き	担当ケアマネージャーによる承認が必要	ウィルオンラインストアでの申し込みが可能	自治体に申請して、判定などの手続きが必要
対象機体	Model CK2/CK Lite/RK	全モデル	Model C2/C Lite/F
アプリ利用	不可	可	可
WHILL Smart Care 加入	不可	可	可

*身体・生活状況を考慮して自治体からの支給額が決定します。支給額には個人差があり、記載の額を超える可能性もあります。

患者様・担当利用者様のご自宅での無料試乗申込

お住まいの生活環境で、じっくりお試しできます。

自宅周辺の坂道を登れるかどうか　玄関に置けるかどうか
ちゃんと操作できるかどうか

- 自宅で無料試乗
- 配送料や調整料は一切なし！
- トレーニングされた専門スタッフが対応します
- 所要時間1時間〜2時間

事業所・病院での試乗会／勉強会リクエスト承ります

「職員全員で体験したいので
事業所に持ってきてほしい」
「取扱可能な事業者を紹介してほしい」
などお気軽にご相談ください。

試乗の申し込み
はこちら

WHILL株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-1-11
ハーバープレミアムビル 2F

ウィルコンシェルジュデスク
TEL：0120-696-527
営業時間：平日 9:00〜18:00
※通話料無料

2026.09

WHILL

WHILL（ウィル）介護保険レンタルの手引き





介護/医療現場の新常識1

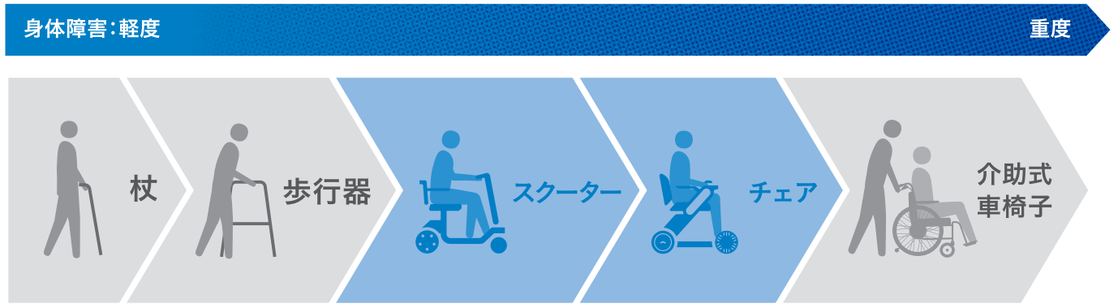
電動車椅子は重度障害者だけが使うものではない

中軽度の身体障害がある高齢者こそ、電動車椅子が自立のサポートに！

今まではこのような利用ステップだけだと考えられてきましたが…



実際にはこのような利用ステップが多く見られました。



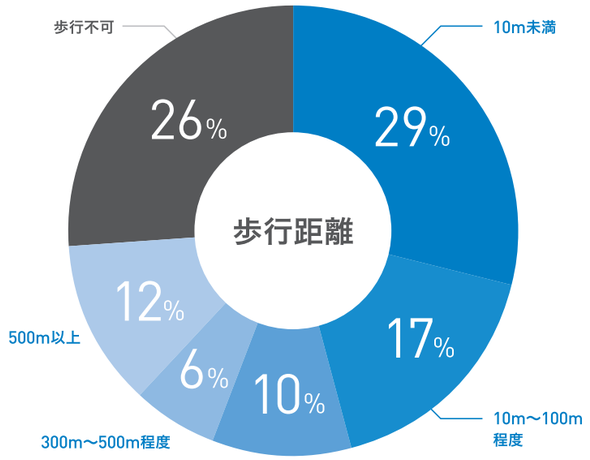
よくあるイメージ

電動車椅子は、手動車椅子が漕げなくなった人が使うもの

利用実態

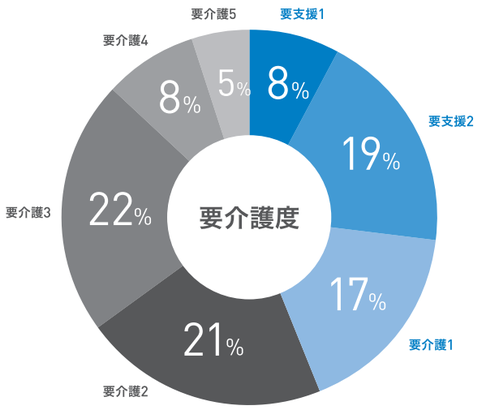
「認知機能」の衰えのない、軽度者・中度者が自立・外出支援のために利用しているケースが多い。

休憩なしで歩行できる距離はどのくらいですか？



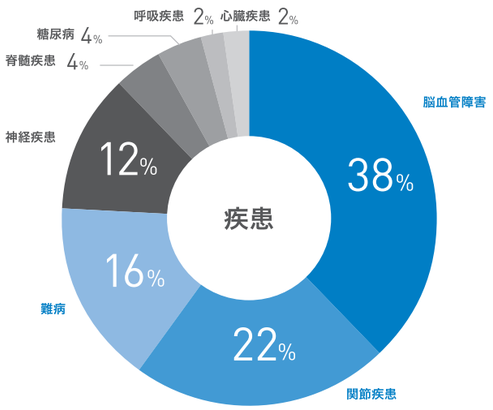
約75%の利用者が歩行可能です。

WHILLユーザー調査 2020年3月19日～31日 Web上で実施
回答者数86名



約45%が介護保険では軽度者にあたる方。

介護保険レンタル利用者に対するユーザーアンケート
2019年1月～2020年5月 Web上で継続実施　回答者数76人



脳血管障害や関節疾患の方が多い。

介護保険レンタル利用者に対するユーザーアンケート
2019年1月～2020年5月 Web上で継続実施　回答者数76人

ウィルは移動支援や、自立的な生活のための手段として利用されています。
要介護度１以下の特例給付での利用事例も多く見受けられます。

介護/医療現場の新常識2

「電動車椅子に乗ると歩けなくなる」は間違い

移動ツールは自身の「行きたい」「やりたい」を叶える手段。
外出意欲を高め、行動範囲を広げます。

他ユーザー様の事例も見る

WHILLカルテ

ケアプラン事例1



Cさん 要介護度1

男性 / 80代 /170cm・60kg

ご自宅生活中

Model CK2



- ☑ 心肥大のため、10分程度の歩行で疲れてしまう。
- ☑ 歩行時にふらつきが見られるが、痛みなどはない。
- ☑ 現在でも毎週末は近所に住む娘と外出。
- ☑ 外出自体が好きでWHILLを利用したことで、様々な所に行けるように。

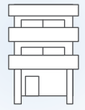
Cさんの日常生活のポイント ☑

1 同居家族



一人暮らし

2 住居環境



住居は3階建て

3 現在利用中の福祉用具



WHILL Model CK2



杖

4 現在利用中のサービス



デイサービス

5 日常生活での楽しみ



毎週末の娘とのお出かけ



近所の寺社仏閣、公園へ散歩



翌日の食材の調達



高室先生からのコメント

心臓疾患を抱えるCさん疲れやすく息切れもあり「歩く」ことがかなりの負担でした。娘さんに勧められたことで、出会ったWHILL。スタイルがかっこいいWHILLで移動の負担が減る実感を得られると行動範囲を広げたい意欲が湧いてきました。娘さんとのディズニーランドと野球観戦を「課題」にし、WHILLを使っての外出訓練や食材購入を目標としました。杖を使っての歩行訓練と水中ウォーキングも下肢と心臓の機能維持にも効果的です。寺社仏閣巡りが趣味なので、近所のお寺に通っての写経も心のリハビリとして組み込んであります。週2回のデイサービスで機能訓練と入浴を行い、塩分に配慮した食事メニューで体調の改善と維持をめざすことも位置づけられています。

ご本人を知る〜現状と課題〜



Cさんからのヒアリング

1. Cさんの性格・趣味・現状の生活を把握する

性格・職業歴	性格は温和。家族も仲が良く大切に育てられた。友人や知人も多く、小学校の同窓会の事務局も頼まれて20年間やってきた。5年前に亡くなった妻とは30歳のときに結婚。妻の明るい性格に惚れこみ、大恋愛の末に結ばれる。一男一女を育て上げる。仕事は〇〇区役所。異動しても話題が豊富でオモシロイので人気者だった。
趣味・こだわり	趣味は寺社仏閣巡り。近所のお寺には大写経会のために通っていた。公園を散策するのも好き。外出が好きでタウンウオッチングしながらスマホで写真もよく撮る。WHILLのおかげで外出の機会がグッと増え、次はディズニーランドと横浜市にある妻の墓参りをしたい。40代から合唱サークルに入っていて「第九」のステージに立ちたい。
疾患歴	・50代から心臓の脈拍が乱れることがあり、職場の健康診断で心臓肥大を指摘される。 ・高血圧の薬を服用しているのと、血糖値も高めなので塩分の摂取を控えている。 ・10分程度の散歩でも体が疲れてしまうことや、広いショッピングセンターなどで歩くのが辛いことがある。 ・歩行にふらつくことはあるが、膝が痛いわけではない。
生活習慣	・公務員の頃からの生活習慣は変わっていない。 ・食事は1日2食。朝と昼を11時に一緒に食べている。 ・ヘルパーさんに週2回、調理をしてもらっている。食材の購入は前日に必ず自分で行っているが、それが良い習慣となっている。

pdfをダウンロード

2. Cさんの意思・課題を見つける

YATTEMITAI（やってみたい） シートの活用

本人の生活に対する意欲（そこから見える課題）を知るために、YATTEMITAIシートを利用して「昔していたこと/今していること/やってみたいことをチェックしてもらいます。そうすることで、本人も意向を話しやすくなり、ケアプランを作成しやすくなります。Cさんの WHILL使用前のYATTEMITAIシートをみてみましょう。

YATTEMITAシートは
ここからご覧いただけます
（ダンロードは不可）

シートからわかるCさんのやってみたいこと

・WHILL利用を初めて間もないので、まだWHILLを練習中。
・WHILLを練習も兼ねて、娘さんと週末のお出かけをしているが、
平日にもっと、一人でも今までのように外出できるようになりたい
との希望あり。（している/してみたいにダブルチェックした）

CさんのYATTEMITAIシート

	私の「楽しみ・生きがい」 該当するところに「○」を記入してください。	していた	している	してみたい
33	歌唱（合唱・カラオケ　合唱仲間と会う　）			○
34	音楽を楽しむ（ジャンル：　）		○	
35	文化鑑賞（□美術館□博物館□他　）		○	○
36	名所めぐり（場所：　）			
37	温泉・健康ランド（　）	○		○
38	国内旅行（場所：　）		○	○
39	海外旅行（国：　）			○
40	お出かけ（□自動車□電車□タクシー□他　）		○	○
41	遊び（種類：　娘とディズニーランド　）			○
42	運動（種類：　）	○	○	○
43	散歩（種類：　）			
44	ウォーキング（種類：　）	○		
45	観戦（種類：　野球を見たい　）			○

※YATTEMITAシートは意欲動機付けシート（高室成幸監修）を一部改変。

高室先生

WHILLで外出への可能性が広がってきたのでYATTEMITAIシートもとても積極的。お出かけ先も温泉・健康ランドや国内旅行・海外旅行、ランチ・ディナーに食べ歩きまで、とても広がっています。操作スキルがアップしていけば、数か月後にはさらに広がっていることが期待されます。

ケアプラン〜Cさんの意思・課題に沿ったサービス計画〜

居宅サービス計画1

YATTEMITAIシートの内容がしっかりと書き込まれています。
荒川河川敷はランニングコースもあり坂もなくフラット。WHILL散歩に最適です。
WHILLで「できることが増える」ことは人生の喜びです。

本人及び家族の生活への意向を踏まえた課題の分析の結果	〈利用者の意向〉妻が亡くなって5年、ひとり暮らしにも慣れました。 寺社仏閣巡りが趣味で、近所のお寺やお隣りの牡丹園によく行ったものです。ふらついて転倒するのが怖いけどWHILLを使えば写経の会にも通えそうですね。荒川の散歩も再開したい。ディズニーランドや野球観戦にも行ってみたいなぁ。合唱サークルの仲間と再会し「第九」のステージにも立ちたい。〈長女の意向〉穏やかな父ですが、心臓が悪いので自宅にこもりがちになるのが心配です。週末はいっしょに○○ショッピングモールや近くの○○公園に行くようにしています。体調がよくなれば、横浜にある母の墓参りにはぜひ行きたいですね。野球観戦に東京ドームにも行きたいですね。

心臓疾患は急変もあります。緊急時の対応を想定した準備も大切ですね。
親子で思いが一致しているのはステキですね。

高室先生

心臓疾患があり諦めることが多かったご本人がYATTEMITAIシートで前向きになり、WHILLが可能なので西新井大師や牡丹園への散歩、定期的な写経会、ディズニーランドや野球観戦など、とてもポジティブな意向になっています。

居宅サービス計画2

WHILLのパフォーマンスが発揮されるのが砂利道やちょっとした悪路。

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	援助目標 長期目標	（期間）	援助目標 短期目標	（期間）	援助内容 サービス内容	サービス種別	（頻度）
WHILLを使いこなし、娘と東京ディズニーランドと野球観戦を楽しみたい	安全な移動ルートと移動時間がポイント。それが決まれば1人での外出も可能になります。	6ヶ月	WHILLで近所のお寺の参道から本堂までの砂利道と石畳を移動できるようになる。	3ヶ月	①WHILLの操作マニュアルの指導を受け近所の○○公園や荒川河川敷で練習する ②さまざまな条件を想定した道路でWHILLの操作を行う ③操作練習を動画に撮り見返す	①本人/福祉用具相談員 ②本人/福祉用具相談員 ③本人	週２回 随時 随時
	自宅から近所のお寺までWHILLを使って娘と一緒に安全に移動できるようになる。		ふらつきに注意し、1点杖を使って疲れることなく、15分間のお散歩ができるようになる。	3ヶ月	①両腕と握力の筋力アップのトレーニングをする ②万歩計とストップウォッチを使って歩行時間を記録する ③主治医の指導を受け降圧剤による低血圧に注意する	①本人 通所介護 ②本人、娘 通所介護 ③主治医	週２回 随時 週２回 通院（月1回）
	心臓肥大にとって高血圧は大敵。食事療法と運動療法、薬物療法でバランスよく治療しましょう。		心臓肥大に注意し、息切れや疲れに配慮し、血圧を下げる生活習慣を身につける。	3ヶ月	①塩分を控えた食事メニューに改善し、買い出しを行う ②1日3回、元気体操を10分間行う ③週2回（30分）は水泳教室で水中ウオーキングを行う	①本人 訪問介護、娘 ③本人/○○水泳教室 ③主治医	週５回 毎日 週２回

YATTEMITAIシートの「2つの願い」がめざすべきゴールになっています。

高室先生

東京ディズニーランドと野球観戦を課題に設定し、短期目標が①近所のお寺での移動訓練、②一点杖の練習、③心臓肥大に配慮した体調管理、具体的に取り組めるようになっています。

居宅サービス計画3

週間サービス計画書

		月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
早朝	6:00							近所のお寺「写経会」	
	8:00								起床
午前	10:00	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	ヘルパーさん調理	娘来宅		朝昼兼用の食事（平日デイサービスの日）
	12:00						昼食		朝昼兼用の食事（平日通常の日） 昼食
午後	14:00	デイサービス ・機能訓練 ・入浴	スーパーで買い物	スーパーで買い物	デイサービス ・機能訓練 ・入浴	スーパーで買い物	外出（WHILLを車載して遠出も） ・河川敷 ・○○公園	水泳教室 水中ウォーキング	
	16:00								
	18:00								
夜間	20:00								夕食・お風呂 就寝
	22:00								

週単位以外のサービス	福祉用具（WHILL）

高室先生

週２回のデイサービスで機能訓練と入浴、週５日はヘルパーさんに料理作りなどの家事支援、前日には食材購入のための買物などがバランスよく組み込まれています。

WHILL利用での変化

こちらは電動車いす使用者による生活の変化を示すものであり、電動車いすによる医療機器の効能効果を示すものではありません。

WHILLを迎えて娘さんと一緒に外出すること、その機会自体が増えたCさん。以前娘さんは、長時間歩きそうな場所へ行く際は、Cさんを気遣ってお一人で外出していましたが、「WHILLなら行ける」と必ず声をかけるようになりました。出かけた先でのお互いの気疲れもなく、遠慮や我慢をすることが減って楽しく過ごせるようになったことで、Cさん本人だけでなく、ご家族全体での外出意欲も増しています。

	親子での外出頻度	行動範囲	行動意欲	娘さんの行動
利用前	週末はゼロ回	デイサービスなど以外は留守番	何かしたい・出かけたい気持ちはあっても諦める	外出時に声かけず
利用後	週末ごとにお出かけ（月3~4回）	平日に加え、週末にショッピングモールや近所のお寺など、出かけた先で歩くような広い施設に外出	行動意欲 高 デイサービスへの通所、日々のタスク*など「まだまだ頑張るぞ」と意欲的に	外出時に声をかけて一緒にお出かけ

*日々のタスクとは・・・デイサービスがない平日に、ご本人様が「仕事・タスク」として実施するスーパーへの買い物のこと。ヘルパーさんが作成したケアプラン内に盛り込まれており、買ってきてほしい食材が記載されたノートを見ながら、自転車で訪れたスーパーで買い出しをする。

ケアプラン事例2



Tさん　要介護度1

男性 / 80代後半 / 165cm・60kg

ご自宅生活中



- ☑ 膝の痛みにより、立ち上がりや歩き始めに痛みがある。
- ☑ ゆっくりとした歩行が可能。
- ☑ 半年前に運転免許を返納し、移動手段は徒歩のみ。
- ☑ 毎週末に友人と会う馴染みの喫茶店が坂の上にあり、上ることがややつらい。

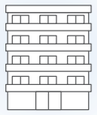
Tさんの日常生活のポイント ☑

1 同居家族



奥様と二人暮らし

2 住居環境



マンションの4階に居住

3 現在利用中の福祉用具



1点杖

4 新たに利用する福祉用具



WHILL Model RK

5 日常生活での楽しみ



近所の公園へ行き、
池の周りを散歩すること



喫茶店に行って、
常連客や店主と会話すること



大好きな昭和歌謡を
口ずさむこと

Tさんは、長年親しんだ車の運転免許を返納した後は移動手段が徒歩のみとなり、さらに膝の痛みも強くなってきたため、外出自体が大きなハードルとなっていました。近所で電動カートに乗っている人を見かけて「自分も乗りたい」と思い、担当ケアマネジャーに相談。普段は**マンションの駐輪場にウィルを停め置き、毎回バッテリーを取り外して自宅で充電**しています。狭い共用通路でも、**その場で旋回や方向転換ができる取り回しのよさが気に入っており**、気軽に出かけられそう、とうれしそうに話します。

pdfをダウンロード

ご本人を知る~現状（WHILL利用前）

1. Tさんの性格・趣味・現状の生活を把握する



性格・ 職業歴	おおらかで明るく、豪快な笑い声が魅力。○○市役所に長年勤め、 地域の人々や同僚からも信頼を寄せられてきた。今でも当時の同僚とは半年に一度集まり、 近況を語り合いながら昔話に花を咲かせる。休日は妻と近所の公園を散歩したり、 馴染みの喫茶店でモーニングを味わう時間を大切にしている。
趣味・ こだわり	趣味はカラオケ。運転免許返納後は、公民館で行われていた週1回の定期レッスンから足が遠のいており、 もう一度仲間と一緒に歌いたいと望んでいる。地区のカラオケ大会では、これまで何度もステージに立った 経験があり、いつかスポットライトの下で、大好きな昭和歌謡を歌い上げたいという夢を持っている。
疾患歴	●階段の上り下りで膝に痛みを感じ、特に起床時や長時間座った後はこわばって動きにくい。 ●膝への負担を減らすよう注意して生活している。高血圧の持病があり、現在薬を服用中。 ●医師の指導で減塩しょうゆやみそを使うなど食生活を工夫し、体力維持のため軽い運動も心がけている。 ●症状を悪化させないよう日々意識して過ごしている。
生活習慣	●食事は1日3食を同じ時間帯に規則正しくとり、飲酒はしない。 ●自宅から徒歩10分ほどのスーパーに買い物へ行くが、帰り道は食材や日用品の重さが膝に負担となる。 ●途中のベンチで休みながら帰宅することもしばしば。 ●「もっと楽に動ければ、買い物や外出も気軽になるのに」と感じている。 ●日常の移動を少しでも快適にしたいと願っている。

軽度者*に対する電動車椅子の貸与については、
「日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者」とケアマネジャー等が判断した場合は、市町村への確認依頼は不要です。**

*要支援1/2および要介護1と認定された方（軽度者）
**ケアマネジャーまたは地域包括支援センター担当職員
日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者は、主治の医師から得た情報および福祉用具専門相談員が参加するサービス担当者会議等を通じた適切なケアマネジメントにより、ケアマネジャー等が判断します。
***市区町村によっては医師の診断書の提出が必要な場合がございます

軽度者申請理由の例

**変形性膝関節症により、立ち上がりや起床時に痛みがあり、
買い物などでの長時間の移動や荷物を持っての歩行の負担が大きく、休み休みとなっている。膝への負担を減らしながら、自立的な日常生活を維持するために電動カート（電動車椅子）が必要である。**

ケアプラン ～Tさんの意思・課題に沿ったサービス計画～

居宅サービス計画1

本人及び家族の生活への意向を踏まえた課題の分析の結果	＜利用者の意向＞以前のように好きに散歩したり、喫茶店でコーヒーを飲んだり、大好きなカラオケの練習にも行きたいのですが、膝の痛みが強くなってきたため近頃は外出自体の頻度が減ってしまっていました。息子夫婦にはまだ頼りたくはなく、買い物や通院などできるだけ自力で生活をし続けたいです。 ＜妻の意向＞二人で近所のスーパーへ買い物に行ってますが、膝の痛みがあるせいか、時々つらそうにしているのでベンチで休んだりしています。近くの公園には、これからも梅やキンモクセイ、寒椿を見に行きたいなと思っているのですが、膝のことで外出ができなくなってしまうのを心配しています。

居宅サービス計画2

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	援助目標				援助内容		
	長期目標	（期間）	短期目標	（期間）	サービス内容	サービス種別	（頻度）
ウィルを使いこなして、カラオケの定期レッスンに通い、地区大会のステージに立ちたい	自宅からカラオケのレッスンが開かれている公民館まで、ウィルを使って安全に移動できるようになる	6カ月	自宅から徒歩20分ほどの公民館まで、安全に移動できるようになる	3カ月	①ウィルの操作マニュアルの指導を受け、公民館のほか自宅周辺、公園の砂利道などさまざまな道路環境で練習する ②操作ができているか定期的にモニタリング	①本人/福祉用具相談員 ②本人/福祉用具相談員	①週２回 ②随時
			膝の痛みが悪化しないよう、杖などを使って15分ほど歩くことができるようになる。	3カ月	①腕や握力の筋力トレーニングを行う ②膝に負担がかからないように立ち上がる ③毎日の歩行時間と歩数を記録する	①本人 ②本人 ③本人	週２回

居宅サービス計画3

週間サービス計画書

		月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
早朝	8:00								
午前	10:00	通院	喫茶店	筋トレ	喫茶店	筋トレ		喫茶店	起床
	12:00								
午後	14:00				カラオケのレッスン		カラオケのレッスン	公園を散歩	昼食
	16:00	スーパーで買い物	スーパーで買い物	スーパーで買い物		スーパーで買い物			
	18:00								
夜間	20:00								夕食・お風呂
	22:00								就寝

週単位以外のサービス	福祉用具（ウィル、杖）

WHILL利用での変化

ウィルを生活に取り入れてからは、自宅から5分ほどの距離にあるスーパーへの買い出しなど日常生活で使うほか、坂を上った先にある馴染みの喫茶店にも日常的にモーニングへ通っています。趣味のカラオケも定期レッスンを再開し、地域の大会でもう一度ステージに立つという新たな目標にチャレンジしています。

	週末の過ごし方	外出への心理的ハードル	行動意欲	人との交流
利用前	自宅でテレビを見ながら過ごす	食材の買い出しもつらく、外出自体が億劫だった	何かしたい・出かけたい気持ちはあっても あきらめる	在宅が多く、家族との会話がメイン
利用後	毎週末のカラオケのレッスンを再開	移動の負担が軽減され、気軽に出かけられるように	行動意欲 高 「まだまだできる」と自信につながり、新たな目標にも挑戦	趣味のカラオケ仲間との会話機会も増え、生活にハリが生まれた

ケア専門家の声

「自分らしい暮らし」を支える移動支援



高齢者生活福祉研究所 理学療法士
加島 守 様

外出や人と会う機会があることで、自分の好みのものの買い物、預貯金の出し入れといった金銭管理、そして身だしなみにも気を配るようになります。このように自分で目的を決めて出かけることは、自分の望む暮らしを実現することに直結しますし、そうした**暮らしを支える手段として、電動車椅子（以下、椅子型・ハンドル型を含む）は非常に有効です。**
また、通信機能付きの電動車椅子を使用すれば、もし「いつもと異なる（想定外の）生活」を送っていた場合も別居の家族が把握でき、適切なタイミングで病院の受診などのケアにつなげられるでしょう。
介護度が低い方でも**例外給付を申請することにより電動車椅子の利用が可能**です。早い段階から長期で利用し、できるだけ多くの人が自律した生活を送ることを願っていますし、**高齢化と人手不足が進む中、介護全体の効率化にも貢献すると期待**できます。

ケアプラン事例3



Model
CK Lite



Kさん 要介護度1

男性 / 70代後半 / 168cm・64kg

ご自宅生活中

- ☑ 脊柱管狭窄症がサルコペニアによる筋力低下がある。
- ☑ 10~20m程度の歩行で下肢のしびれ、痛みが現れる。
- ☑ ゆっくりとした歩行で、ややふらつきがある。
- ☑ 杖を利用しているが、外出時は妻の付き添いが必要。

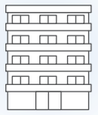
Kさんの日常生活のポイント☑

1 同居家族



奥様と二人暮らし

2 住居環境



マンションの3階に居住

3 現在利用中の福祉用具



1点杖

4 新たに利用する福祉用具



WHILL Model CK Lite

5 日常生活での楽しみ



趣味の写真撮影や
散歩が日課



定年後に習い始めた絵画をする
ために、公園へ出向く



夫婦で外出し、
景色を眺めながら過ごすこと

Kさんは、写真撮影や散歩を日課とし、定年後に始めた絵画のために公園へ出向くなど、外出を楽しみに生活されてきました。しかし、腰や背中の神経の圧迫による痛みやしびれ、筋力低下の影響で長い距離を歩くことが難しくなり、ふらつきもみられるようになったため、現在は通院や最低限の買い物に限って外出しています。一方で、できる限り妻に頼りすぎず、自分の力で外出を続けたいという思いがあります。ケアマネジャーに相談し、自宅周辺でWHILL Model CK Liteを試したところ、懸念していた自宅前の段差を問題なく通過できたことから、屋外でも使いやすいと感じられました。さらに、**駐輪所がないマンションのため、玄関に収納できる点も決め手の一つでした。**

ご本人を知る~現状(WHILL利用前)

1. Kさんの性格・趣味・現状の生活を把握する



Kさんからの
ヒアリング

性格・ 職業歴	物静かで落ち着いた人柄だが、好きなことには意欲的に取り組む。 長年エンジニアとしてまじめに仕事を続けてきた経験から、今でも自分のことはなるべく自分で行いたいという気持ちが強い。定年後は写真撮影や絵画、散歩を楽しみ、夫婦で外出する時間も大切にしてきた。
趣味・ こだわり	写真撮影や絵画、散歩を楽しみとしており、外の景色や季節の移ろいに触れる時間を大切にしている。 カメラなど身の回りの道具にも関心が高く、使いやすさや扱いやすさにもこだわりがある。夫婦で外出し、景色を眺めながらゆっくり過ごす時間も大切にしている。
疾患歴	●腰部脊柱管狭窄症により、腰から足にかけて痛みやしびれがあり、長い距離の歩行が難しくなっている。 ●筋力低下もみられ、歩行時にはふらつきがあり、外出時の移動に不安がある。 ●通院や買い物などで歩く際は、途中で休みながら移動することが増えている。 ●体力の低下を防ぐため、無理のない範囲で散歩や軽い体操を心がけている。
生活習慣	●食事は1日3食おおむね決まった時間にとり、体調維持のため食べ過ぎや塩分に気をつけている。 ●喫煙習慣はなく、飲酒も晩酌程度にとどめるなど、無理のない範囲で健康管理を意識している。 ●通院や買い物など必要な外出はしているが、長く歩くと痛みやしびれが強くなるため、途中で休みながら移動している。 ●体調のよい日は近所の公園や周辺に出て、景色を眺めたり写真を撮ったりして気分転換をしている。

pdfをダウンロード

ケアプラン ～K さんの意思・課題に沿ったサービス計画～

居宅サービス計画 1

本人及び家族の生活への意向を踏まえた課題の分析の結果	＜利用者の意向＞これまでは写真撮影や散歩、定年後に始めた絵画のために公園へ出かけることが楽しみでした。今は腰や背中の痛みやしびれ、筋力の低下もあって長い距離を歩くことが難しくなり、外出は通院や買い物に限られています。それでも、できるだけ妻に頼りすぎず、自分の力で外出を続けていきたいと思っています。 ＜妻の意向＞一緒に外へ出かけて景色を眺めたりする時間が楽しみでしたが、最近は歩くと痛みやしびれが強くなったり、ふらついたりすることがあるので、転ばないか心配です。私が手で押したり、機体を動かしたりするのもなかなか大変なので、無理なく、外出を続けられたらいいなと思っています。

居宅サービス計画 2

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	援助目標				援助内容		
	長期目標	（期間）	短期目標	（期間）	サービス内容	サービス種別	（頻度）
妻と昔よく出かけていた公園へ再び一緒に行き、景色を眺めたり、写真撮影や絵画を楽しみたい	電車も利用しながら、景色のよい場所へ安全に外出し、絵画や写真撮影を継続できるようになる	6カ月	ウィルの操作に慣れ、自宅周辺や最寄り駅まで安心して移動できるようになる	3カ月	①ウィルの操作マニュアルの説明を受け、自宅周辺や駅までの移動練習を行う ②自宅周辺や最寄り駅までの移動練習を行い、段差や線路の溝などの通過に慣れる	本人/福祉用具相談員	週2回
			近隣の公園や外出先で、無理のない範囲で絵画を楽しめるようになる	3カ月	①妻と一緒に近隣の公園などへ外出し、景色を眺めたり写真撮影や絵画を楽しむ機会をつくる ②使用状況を定期的に確認し、安全面や外出状況をモニタリングする	①本人/妻 ②ケアマネジャー/福祉用具専門相談員	①週1回 ②随時

居宅サービス計画 3

週間サービス計画書

		月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動
早朝	8:00								
午前	10:00	通院		筋トレ		筋トレ		喫茶店	起床
	12:00								昼食
午後	14:00				ウィルで外出練習		ウィルで外出練習	近所の公園で絵画	
	16:00	スーパーで買い物	スーパーで買い物	スーパーで買い物		スーパーで買い物			
	18:00								
夜間	20:00								夕食・お風呂
	22:00								就寝

週単位以外のサービス	福祉用具（ウィル、杖）

WHILL利用での変化

ウィルを生活に取り入れてからは、通院や買い物に加え、近くの公園にも気軽に出かけられるようになりました。景色を眺めながら写真を撮ったり、絵画を楽しんだりしています。さらに、妻と昔よく出かけていた公園へ再び行くことを目標に、少しずつ外出の幅を広げています。

	週末の過ごし方	外出への心理的ハードル	行動意欲	人との交流
利用前	自宅でテレビを見ながら過ごす	妻に頼ることへの遠慮もあり、行きたいけど控えていた	何かしたい・出かけたい気持ちはあっても あきらめる	在宅が多く、妻との会話がメイン
利用後	週末は写真撮影や絵画を楽しみながら、外で過ごす	移動の不安が軽減し、一人でも気軽に出かけられるように	行動意欲 高 「まだまだできる」と自信につながり、新たな目標にも挑戦	外出先で人と関わる機会が増え、妻と過ごす時間もより充実する

よくあるイメージ

電動車椅子に乗ると歩行能力が衰える

利用実態

移動の体力を温存し、「行った先でちょっと歩いてみよう」「やってみよう」と意欲が湧く

自立支援のために電動車椅子を活用し、PT・OTの目標達成につながった症例の紹介



USER INFO

K様

男性 / 50代

要介護2

身体障害者手帳1級

WHILL Model CK2、
杖を介護保険でレンタル利用

脳出血
右半身麻痺

現在の体の状態

立上り	自身で可能
歩行	杖を使って
移動	自宅内:歩行　外出時:ウィル
移乗	自力で可能

ご自身について

もともと美容師として活躍し、全国大会での入賞歴を持つ。抽象画を描くことを趣味としており、作品は、妻と二人で営む美容室の看板にもあしらわれている。脳出血を発症後、回復期リハビリテーション病棟を経て発症5か月後に自宅復帰。以降、訪問リハビリテーション(訪問リハ)を週3回、通所介護事業所(デイサービス)を週3回利用。自宅復帰から約2年後にWHILL(ウィル)の利用を開始し、行動範囲の拡大とともに自立度が向上。現在、訪問リハではST(言語聴覚療法)のみを継続しながら、抽象画の創作活動に意欲的に取り組んでいる。

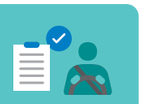
経過と介入

ウィル利用前の課題(〜退院後2年)

退院後約1年で、着替えや入浴など自宅内でのADLは改善した。一方、外出するイメージが持てず、前向きな目標を見失ってしまい、提案された身体機能訓練をこなすのみという受動的な状態が続いていた。



興味関心チェックシートを通じて、「車を運転したい」という思いを確認。身体機能を評価し、実現可能な手段として電動車椅子を提案。ケアマネジャーや福祉用具貸与事業者とも連携し、ウィルの利用を開始した。



興味関心チェックシートはこちらからダウンロードできます。

ウィル利用後の変化

当初は、自宅周辺での操作練習や乗降動作練習から開始。利用開始約6か月後には1日1時間以上の外出が習慣化した。外出機会の増加とともに、自ら新たな目標を見出し、デイサービスでの歩行訓練などにも意欲的に取り組むようになった。



現在、訪問リハではSTのみを継続。ウィルに乗ってデイサービスへ自立して往復通所している。外出習慣が定着したことで身体活動量も増加したことなどから、ウィル利用開始から約6か月後には、要介護3から要介護2へと要介護度が改善した。



要介護度が改善

担当OT様の評価、経験談

K様は退院直後から「車の運転を再開したい」という思いが強くありました。しかし、高次脳機能障害の影響もあり、実際の運転再開には高いハードルがある状況でした。そのため当初は自宅内歩行など、PT・OT視点で設定した身体機能中心の目標を据えていました。

電動車椅子の利用は、自宅復帰から2年後、K様が目標を見失いかけていた中で、改めて興味関心チェックシートを元に会話した際に、唯一明確に伝えてくださった希望を基に設定した目標でした。「外に出たい」という強い意思があったからこそ、今回の改善につながったのだと思います。

自宅復帰から2年が経過してからの導入となってしまい、「もっと早い段階で提案できていれば」という後悔もあります。K様のように「車の運転」を望みながらも、お身体の状況から実現が難しい方は少なくありません。そうした方に対しても、外出意欲を叶える一つの選択肢として、電動車椅子があることを、PT・OTやケア従事者の方々に知ってほしいと思います。

身体機能変化の定量データ

ADL・身体機能	利用開始時	1年後	2年後	2年半後
Barthel Index	70/100点	90/100点	90/100点	90/100点
CS-30	3回	4回	10回	8回
5m歩行	非実施	19秒	11.5秒	9.4秒
TUG	51.5秒	38秒	24.4秒	20.4秒
握力(右/左)	0kg/30kg	1kg/30kg	2kg/37kg	2kg/41kg
LSA(Life Space Assessment)	24/120点	25/120点	28/120点	50/120点

ウィル利用後、LSAの数値は顕著に改善した。百貨店で開かれている絵画展への外出や、1人でバスを乗り継ぎ、約7km先で開催された講演会への参加など、自宅中心の生活から行動範囲が大幅に広がり、社会参加の機会も増加した。

ウィル導入に向けた関係者間での連携・取り組み:担当OT様談

退院から2年が経過しても生活動作や意欲面に大きな変化が見られず、ケアマネジャーやご家族の間では半日型デイサービスから一日型デイケアへの変更も検討していました。電動車椅子が検討に上がった際、利用によって介護保険の利用点数が高くなり、デイケアを利用できなくなるほか、ご家族からは「電動車椅子を使うことで歩かなくなるのではないか」といった不安の声がありました。

そこで、デイサービスの利用頻度は変えず、訪問リハの中で玄関ドアの開閉動作や屋外への出入り、電動車椅子の乗り降り動作などを訓練項目として設定し、外出に向けた、かつ、リハの総量は変わらないプランを作成しました。また、K様と相談し「自宅内では歩行する」「ウィルの利用は6か月間まで」を約束事項として共有。担当者会議にて説明し、ご家族やケアマネジャーにも納得していただき、福祉用具事業者とも連携しウィルを導入。期限としていた6か月後、関係者で振り返りを行い、継続利用の判断をしました。



K様より

ウィルの利用前は将来について考えられず、リハビリにも身が入りませんでした。ウィルで外出できるようになったことで、それまで強くこだわっていた美容師への復帰に区切りをつけ、「今の自分にできる新たな目標を見つけよう」と前向きに考えられるようになりました。現在は自分で描いた絵画作品をSNSで発信しながら、画家として「売れる作品を描くこと」を目標に取り組んでいます。





日常生活でのウィルの使い方

自宅周辺は道幅が狭く、また自宅マンションの共用部に保管する必要があることから、コンパクトな椅子型モデルを採用。普段は玄関ドア脇に保管し、外出時にそのまま乗車して利用している。

他ユーザー様事例や専門家の声、製品について詳しくご紹介

医療・介護従事者の皆様専用ページ

リハビリの現場でのウィル活用例ご紹介

退院後のスムーズな生活を支援
モビリティ利用訓練

回復期のリハビリ患者様が退院後、スムーズに日常復帰することを目的に、
その方に合った移動ツールとしてPT／OT様がウィルを紹介し、
生活環境に近い状況下で患者様に運転を体験してもらう訓練の事例をご紹介します。

鵜飼リハビリテーション病院様



50代男性
左半身麻痺
歩行には杖が必要

日常復帰への不安

職場復帰したいが、以前と同じ生活を送ることができるか不安

自分の体力を考えると、退院後は以前と比べて行動範囲が狭まるのでは

不安の軽減

車が出入りする段差もウィルで乗り越えられた

通勤にウィルを使えば体力温存でき、疲れもだいぶ軽減されると思う

砂利道も走行できそう。趣味の神社巡りを再開したい



理学療法士
福井裕介様

毎日リハビリに取り組む患者様の中には、「できないこと、上手くいかないこと」に日々直面し、体力的にも精神的にも辛かったり、大きな負担を感じたりしていると思います。ウィルに乗ることで、「自分の力でできる」ことが患者様の自信に、また、リハビリの気分転換にもつながると期待しています。

中伊豆リハビリテーションセンター様



40代女性
右半身麻痺
車の運転再開が目標

退院後のウィル利用

自宅から駅までウィルに乗り、帰りは夫と交代して歩くなど、自身のペースでリハビリとして活用

歩きづらさはあったが、ウィルに乗ると気分転換になる

車の運転再開

ウィルに乗ることで、運転操作する感覚を維持

時速6kmのやや早めのスピード感に身体を慣れさせた

退院から1年後、目標としていた車の運転再開を達成



作業療法士 主任・
作業療法学博士
那須識徳様

脳卒中患者様の7割が車の運転再開を希望するものの、半数程度が退院後すぐの再開が困難です。現実とのギャップに苦しみ、活動量が減少してしまうことも。
どんな状況下でもやりたいことを続けられるよう、近距離モビリティの活用や、地域の移動支援を通じて活動量を維持することが重要と考えます。

地域社会でのウィル活用例ご紹介

地域社会との関わりを創出
ウィルの施設導入事例

ウィルは地域を活性化する取り組みの一つとして、
各地の施設への導入が広がっています。
介護／リハビリが必要になるよりも前の段階から触れておくことで、
外出機会の維持に役立ちます。
社会との関わりの創出により、医療機関だけでなく地域社会全体でシニアを支えられます。



シャポー市川（千葉県）

日々の買い物の場として地域住民に利用されています。



小田原城址公園（神奈川県）

地域の憩いの場として親しまれています。



勝尾寺（大阪府）

年中行事などで、地域住民に親しまれています。

法人向けの
レンタルサービスについて
詳しく知る

WHILL
モビリティサービス

3 安全な利用のための取り組み

安心安全のための
取り組みについて知る

WHILL社の
安心安全の取り組み

ウィルは免許不要で歩道を走れる、
歩行領域をカバーする電動の近距離用の移動手段です。

道路交通法上、電動車椅子に該当します。時速6km/h以下で走行し、歩行者扱いとなります。

「歩行者」としてのルール

歩道あり
歩道を走行



歩道なし
路側帯を右側通行



歩道・路側帯なし
道路を右側通行

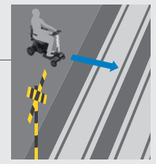


通行時に気をつけること

道路を横断するとき
横断歩道を通行



踏切を渡るとき
手前で一旦停止
線路に対し直角に通行



信号を渡るとき
余裕を持って
次の「青」を待つ

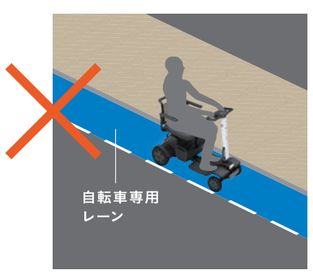


走行 OK



走行 NG





乗車時の心得

※操作には正確な注意力と判断力が要求されます。ご不安の際はご家族やお医者様などとご相談ください。

飲酒後や
体調不良時の
運転は避ける



携帯電話の
ながら運転は
しない



身体を
機体から
乗り出さない



注意すべき場所や時間



坂道
走行時は直角に進入し、
上り降りともに「前進」で
通行
※機種によって登坂角度は異なる



段差
走行時は
直角に進入
※機種によって越えられる高さは異なる



深い溝
踏切や路上の溝
走行時は直角に進入



傾斜地
身体の重心を
斜面の高い方に
かけながら通行



夜道
ライトや
反射板を活用



悪天候
路面が濡れていたり
凍結している場合は
注意

バス・タクシー固定方法

・QRコードから公共バス利用マニュアルがダウンロードできます。
バス・タクシーの乗務員に提示してください。
・バス・タクシーの使用や装備により利用が困難な場合があります。
事業者へ、事前に確認することをお勧めします。
・利用方法に沿った利用ができない場合、バス・タクシーの利用を
お控えください。

*Model R/Sには当てはまりません。

公共バス
利用取扱マニュアル

福祉用具専門相談員（貸与事業者）との連携

利用開始時の試乗・運転指導

利用開始前には、ご自宅周辺や、いつも使っている道など、実際の生活環境で試乗を行います。
製品・操作説明、交通ルールの説明、保管場所の確認、充電方法の説明 など
万が一危険だと判断した場合は、貸出をしない場合もございます。

定期モニタリング

半年に1度の定期モニタリングにて、電動車椅子に異常がないか、利用状況に変化はないかの確認を行います。外出ルートの気になる箇所の確認、用具の変更などご相談に乗ります。モニタリング結果は、ケアマネジャーへ連携の上、計画の作成・変更に活用いただけます。

pdfをダウンロード

安全運転適合確認書

点検整備記録書

WHILL

安全運転適合確認書

ご利用者様名	機種名	資産管理番号	実施日付
様			20　年　月　日

確認項目		結果
■ご利用にあたっての説明		
乗る前の注意	眠気がある時、気分が優れない時は利用を控えてください。	済
	乗車時は電源が OFF の状態ですか。	済
	電磁ブレーキがかかっていますか。(本体下側の赤いレバー。外れていた場合エラーコード 03 が表示)	済
	運転に支障がない服装ですか。 (丈の長いスカート、マフラーの巻き込み注意)	済
	座面奥まで深く腰をかけてください。(Model RK の場合はバックミラーを調整ください)	済
	肘掛けを降ろし、フットサポート(足置き)に足を降ろします。(アームが上がった状態でコントローラーを操作するとエラーコード 01 が表示)	済
保管方法	充電方法は、充電器のコネクタをバッテリーの充電ポートに接続します。1ヶ月に1回は必ず充電してください。	済
	保管場所は、直射日光や雨に晒される場所を避け、屋内や、カバーを掛けて保管してください。	済
交通ルール	歩行者扱いで歩道を走行します。歩道がない道路の場合は、路側帯を右側通行します。	済
	踏切を渡る時は、手前で一旦停止、線路に対し直角に通行します。	済
	横断時は横断歩道を通り、点滅信号では渡らないでください。	済
	「横断禁止」ではない見通しのよい直線道路のみ、よく左右を確認してから道路に対して直角に横断します。	済
緊急時の対処・禁止事項	故障や事故時には、周囲の人に助けを求めてください。クラッチ(ブレーキ)を解除(手動)にし、手押しで脱出移動をしてください。	済
	雨天時は利用を避けてください。砂地や沼地などの柔らかい路面、雪道や凍結した路面では使用しないでください。	済
	牽引、ペットの散歩、2人乗り、115kg(CK2)、136kg(CK Lite)、147kg(RK)を超える積載、飲酒運転、走行中の携帯電話の操作はしないでください。	済
■身体能力等の確認		
移乗のチェック	機体への乗り降りが安全にできますか。	良
基本操作等のチェック	コントローラー(CK2/CK Lite)/レバー(RK)に触れず、電源 ON（触れた状態で電源を入れるとエラーコード 02 が表示）	良
	バッテリー残量が十分ありますか。(50%前後で充電)	
	スピード設定は、慣れるまでは低速(速度表示 1 または 2、2km/h 位)でご使用ください。	良
	速度の操作、ブレーキ操作、ハンドル操作はできますか。	良
	発進時前後左右を目視で確認ください。 後進時も目視で確認ください。	良
	降りるときは電源 OFF してください。(ON のままでは誤発進の危険)	良
■運転適性の確認		
通行区分	走行路を理解して走行できる。(踏切や段差など危険な場所は回避してください)	良
場所ごとの走行	傾斜や段差等、 場所ごとの注意点を理解して走行できる。	良
安全確認	前後左右の安全確認ができる、 発進のタイミングを判断できる。	良
速度調節	状況に応じた速度の判断ができる。	良
前後進・右左折	真っ直ぐに走行できる、 内輪差を考慮して曲がることができる。	良
停止	目標地点で的確に止まることができる。	良
道路の横断	一旦停止・速度調節 発進のタイミング等、安全に横断できる。	良
踏切の横断	一旦停止・速度調節 直角進入等、安全に横断できる。	良・無
緊急離脱方法(踏切の場合)	踏切内で停車した場合の対処方法の説明・指導。(踏切で立ち往生した場合は、非常ボタンを押してもらい、脱出を優先ください)	良・無

利用ルート上の注意箇所、留意点、アドバイス等

実施店舗/営業所（店名・電話番号）	実施担当者	ご利用者様
	印	印

(続柄:　　)

WHILL

点検整備記録書

ご利用者様名	機種名	資産管理番号	実施日付
様			20　年　月　日

電動カートの点検項目		結果
外観	外装部品の損傷	
	オプション品の取付け状態	
	リアランプ点灯	
前輪	亀裂・損傷・摩耗 (溝深さ　mm)	
後輪	亀裂・損傷・摩耗 (溝深さ　mm)	
ハンドル	ガタつき	
	左右の切れ角	
アクセルレバー	作動・戻り具合	
コントローラー	損傷・ガタつき	
	表示 (バッテリー残量、速度設定)	
	ボタン操作 (速度設定、電源、ホーン)	
	ホーン (音、音量)	
	フロントライト点灯	
キー	作動具合	
走行機能	直進性	
	速度設定	
	コーナー減速機能	
	ハンドルの操作性	
	制動性能 (停止距離 1.5m 以内)	
ブレーキ	電磁ブレーキの効き具合	
シート	クッションの状態	
	回転状態・ロック操作	
	アームレストの状態	
充電	充電器の損傷・異常	
	充電ランプ表示	
バッテリー	損傷	
	交換の必要性 (稼働時間/最大容量)	
その他	タイヤの取り付け状態	
	スマートキー操作	
	分解・折りたたみ	

電動車いすの点検項目		結果
外観	外装部品の損傷	
	オプション品の取付け状態	
	リアランプ点灯	
前輪	亀裂・損傷・摩耗 (溝深さ　mm)	
後輪	亀裂・損傷・摩耗 (溝深さ　mm)	
コントローラー	損傷・ガタつき	
	表示 (バッテリー残量、速度設定)	
	ボタン操作 (速度設定、電源、ホーン)	
	ホーン (音、音量)	
	ジョイスティックの操作性	
走行機能	直進性	
	旋回性	
	速度設定	
	制動性能 (停止距離 1.5m 以内)	
ブレーキ	電磁ブレーキの効き具合	
シート	クッションの状態	
	アームレストの状態	
充電	充電器の損傷・異常	
	充電ランプ表示	
バッテリー	損傷	
	交換の必要性(稼働時間/最大容量)	
その他	タイヤの取り付け状態	
	スマートキー操作	
	分解・折りたたみ	

※点検実施表示
レ:異常なし ×:交換 △:調整 A:調整 T:増し締め C:清掃 L:注油 /:該当なし

ご利用状況　①運転・操作　②目的地　③保管・充電場所

備考

点検実施（店名・電話番号）	点検者	ご利用者様
	印	印 (続柄:　　)







4 近距離モビリティウィルのご提案

WHILL社は、2012年5月に日本で創業し、
「すべての人の移動を楽しくスマートにする」
をミッションとして、20以上の国と地域で
近距離移動のプロダクトとサービスを展開しています。
主な事業は、高いデザイン性や操作性などが特徴の
近距離モビリティウィルの開発・販売、
およびウィルを活用して気軽な移動体験を提供する
モビリティサービス（法人レンタル／自動運転）です。
WHILL社は2事業を柱に、近距離の中でも、
他の移動手段では行けなかった、
歩行領域（歩道・屋内外）の移動をカバーすることで、
誰もがどんな場所にもつながる世界を構築します。

WHILL社のこれまでと
これからについて
詳しく知る

WHILL Story



WHILL社の
各種SNSをフォロー

SNSリンク集

note　YouTube

ウィルの活用方法

一時利用・オンデマンド	日常利用

法人レンタル

リハ室に導入し、
患者様にモビリティ利用訓
練をご提供



介護保険レンタル

ケアマネージャー様／
貸与事業者様
介護保険利用にて日常の
移動支援を実現



製品ラインナップ


フラッグシップ
モデル
Model C2


折りたためる
高性能モデル
Model C Lite


折りたためる
シンプルモデル
Model F


歩道の高性能
スクーター
Model R


歩道のシンプル
スクーター
Model S

	Model C2	Model C Lite	Model F	Model R	Model S
介護保険対応	対応	対応	非対応	対応	非対応
段差乗り越え性能	5.0cm	5.0cm	3.5cm	5.0cm	7.5cm
利用シーン	屋外・屋内どちらも◎ 最高峰の乗り心地と あらゆる人の快適性を 叶えたモデル	屋外・屋内どちらも◎ 省スペースで保管可能、 カーボン素材の ウィル内最軽量モデル	段差の少ない 屋外・屋内 省スペースで保管可能	狭い場所もある屋外	段差の多い屋外
共通した特徴	電動車椅子の規格／道路交通法上「歩行者扱い」／時速 6km 以下で歩道を走行可能／斜度 10 度走行可／免許不要／ヘルメット不要／デザイン性／操作性／小回り				

WHILL全モデル共通の特徴



おでかけしたくなるデザイン



着脱バッテリー、室内で充電可能



5cmの段差も楽々クリア



のぼり坂も安心して移動(登坂能力10°)

こんな方には
Model C2
がおすすめ



- 乗り心地、疲労感の少なさを重視する
- 移乗時の安定性を重視する
- 店内・屋内や公共交通機関でも利用したい

こんな方には
Model C Lite
がおすすめ



- 玄関などに折りたたんで収納したい
- 車に積んでお出かけすることが多い
- 店内・屋内や公共交通機関でも利用したい

こんな方には
Model R
がおすすめ



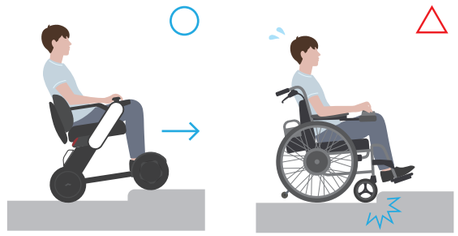
- 自転車やバイク感覚でハンドル操作したい
- 買い物袋や荷物をたっぷりと入れたい
- 毎日をアクティブに過ごしたい

WHILL Model C2/C Liteと簡易型電動車椅子の違い



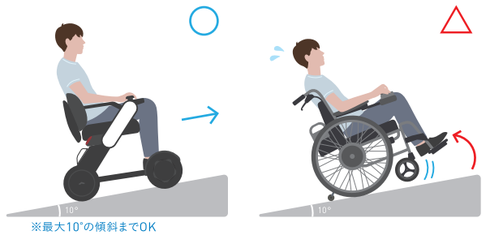
簡易型電動車椅子

段差乗り越え(3cm) 簡易電動は前輪が乗り越えられない。



※最大5cmの段差までOK

上り坂 簡易電動は10度の坂で前輪が浮いてしまい、不安定。



※最大10°の傾斜までOK

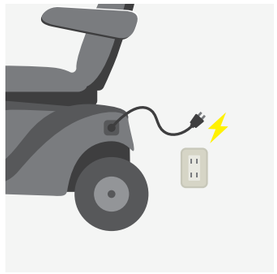
WHILL Model Rと電動カートの違い

ウィルは室内で充電できる着脱式バッテリー。
電動カートは本体からコードを伸ばすタイプが多い。



電動カート





充電を頻繁にするのが負担、日頃長距離を走行する方へ

そんな方向けに、Model CK2長距離モデル、Model RK長距離モデルの取り扱いがあります。
詳しくは、事業者・ケアマネジャー様へお問い合わせください。

航続距離	標準	長距離
Model CK2	20km	29.7km
Model RK	17.2km	30.1km

5 WHILL Model C2のご紹介

紹介動画

POINT 01 外出をサポートする便利な機能



片手で簡単操作

スピード調整、電源オンオフも片手で。手を離すと坂道でも自動でブレーキがかかります。コントローラーは左右のどちらにも付け替え可能です。



最小回転半径 76 cm

狭い場所でもスムーズな動き

特殊な前輪（オムニホイール）を採用することで、その場で360度回転でき、小回りの効いた動きが可能。
狭い自宅内移動（廊下、キッチン等）、職場の狭い机のすり抜け、エレベーター内での回転、などでもスムーズ。
スーパーや病院など、電動カートでは入れない場所でも、小回り機能でらくらく移動。





まとめ買いも余裕のショッピングバスケット&荷物かけ

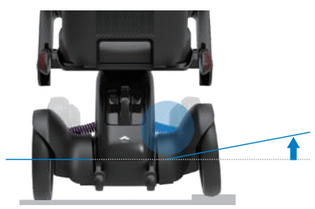
20ℓの大容量かごで買い物にも便利。足元にあるためスムーズに出し入れが可能です。バックサポートにはリュックなどの荷物をかけることもできます。



分解して通常の乗用車に積載可能

4ステップで簡単に3分割。車載して、病院やショッピングモールへ。分割してマンション室内に保管





長時間走ってもストレスフリー

後輪のサスペンションにより、でこぼこ道や段差乗り越えの衝撃を吸収。
長時間走ってもストレスを感じません。

POINT 02 安全な移乗をかなえる便利な機能



アームサポート跳ね上げ

アームレスト「両側」跳ね上げ可能
片側からの横移乗
スライドボード利用での移乗も可能



フットサポート跳ね上げ

フットサポートを90度跳ね上げられます。

横移乗の際に健側（足、手）利用での跳ね上げ
フットプレートを上げての360度回転移乗



フットサポートに乗っても倒れない安定性

重心が低いので安定性抜群。
体重のある方が全体重かけて移乗可能。



POINT 03 お身体の状態に合わせてアクセサリーを活用

貸与 このマークのアクセサリーは貸与マーク取得済み、介護保険レンタルに対応しています。

コントローラー

コントローラーを3種類からお選びいただけます



マウス
（標準装備、無料）
手のひらを乗せて操作します。



スティック 貸与
手で掴んだり指の間に挟んで操作します。



Uシェイプ
指や手首を乗せて操作が可能です。

杖ホルダー



杖ホルダー 貸与
T字型、L字型の杖に対応しています。



多点杖ホルダー 貸与
多点杖専用の杖ホルダーです。

バッテリー





バッテリー 貸与
標準で1つ本体に付属しています。予備バッテリーとして追加でレンタルも可能です。

6 WHILL Model C Liteのご紹介

POINT 01 生活に取り入れやすい便利な機能



片手・ワンタッチで折りたたみ可能

片手のワンタッチ操作で直感的に折りたたみと展開が可能。

玄関へ収納したい方へ最適なモデルです



片手で簡単に折りたためる

新開発の機構により、片手で折りたたみが可能になりました。



折りたたんで転がして運べる

玄関や収納スペースでの取り回しが楽に行えます。狭い間口でも収納可能。



車載もさらに簡単に

カーボン素材のウィル内最軽量モデル。

POINT 02 外出をサポートする便利な機能



大容量バッテリーで負担軽減

介護保険モデル標準搭載の大容量バッテリーは航続距離38.5km。日々の充電作業の負担を軽減します。



横からの乗り込みもラクラク

ラクラクアームレストは跳ね上げ可能で、横からの乗り込みもスムーズにできます。

POINT 03 お身体の状態に合わせてアクセサリーを活用

介護保険モデルには、以下のアクセサリーを標準で搭載しています。



- 杖ホルダー（1点杖/多点杖両対応）
- フェンダー
- バスケット
- リフレクター

7 WHILL Model Rのご紹介

紹介動画

技術紹介動画

POINT 01 外出をサポートする便利な機能

その場で旋回、感動の小回り。

狭い小道や人混み、エレベーターの中など、あらゆる場所で、簡単に方向転換できる国内最小クラスの回転半径。





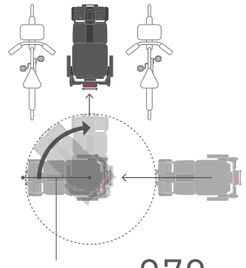
驚異の小回りを実現。

デュアルモーターシステム

後輪の回転数を独立して制御することで、高い小回り性能や走行安定性を実現します。



限られたスペースに駐車する際にも、容易に操作することができます。



最小回転半径 970mm



90度近くハンドルをきれる。

フロントタイヤ

デュアルモーターシステムと90度近く曲がるタイヤで、後輪を軸にその場で旋回できるほどの最小回転半径を実現しています。

たっぷり便利なバスケット



フロントバスケット（オプション）
耐荷重 4kg
容量7.6L

バスケット
耐荷重 6kg

耐荷重 計10kg
容量 計 22.6L

軽量の着脱式バッテリー



5時間充電 → 17.2km

家庭用コンセントで簡単に充電ができます。



POINT 02 安全な利用をかなえる便利な機能

でこぼこ道でも安定性を保つ 長時間乗っても疲れない乗り心地

前輪にサスペンション、後輪に独立懸架サスペンションを採用。デュアルモーターシステムなどの、新しい技術を搭載し、長時間の運転でも快適な乗り心地を実現しています。





快適な旋回をサポートする。

リアスタビライザー

旋回時の車体のロールを抑制することで、安定した旋回性能を実現。



あらゆる路面を安定して走行する。

フロント＆リアサスペンション

後輪には独立懸架サスペンションを採用することで、車輪が独立して個別に動き、あらゆる路面でも安定性を保ち、振動を吸収します。



曲がるときに安全に自動減速する。

舵角センサー

舵角センサーで曲がる時の左右のモーター回転数を調整。右左折時には自動で減速するため、安全な旋回を実現します。

POINT 03 お身体の状態に合わせたフィッティングが可能



体のサイズに合わせて調整できる設計

体のサイズやお好みにあわせて、シートの高さと奥行き、シャフトの角度調整が可能です。



シート回転機能で移乗しやすい

シート回転機能があり、足を上げづらい方にも利用しやすいです。



広く快適なフットプレート

足元が広々としており、膝を曲げづらい疾患の方も利用しやすい設計。前方の路面の目視確認もしやすいです。

杖ホルダー

杖ホルダー 貸与

一点・多点杖どちらでも取り付け可能です。



8 ケアマネジャー様必見！ よくある質問

特に、ケアマネジャー様からよくいただく質問をまとめました。
ケアプラン作成の際、参考にご覧ください。

Q.ウィルは、道路のどこを走行するのですか？（車道/歩道）

・ウィルは、道路交通法上、電動車椅子に該当します。
簡易型電動車椅子、シニアカー（電動カート）も同じく電動車椅子扱いです。
・電動車椅子の利用者は、歩行者扱いです。免許不要で、歩道を走行します。
・いずれも時速6km/h以下で走行します。
・詳しくは19ページをご確認ください。


簡易型電動車椅子


電動カート

Q.電車に乗れますか？

・椅子型モデル
基本的には乗ることが出来ます。電車とホームの間が空いている場合があるので、駅係員の方に乗降のお手伝いが必要な旨をお伝えください。また、駅構内でのエレベーターなどバリアフリーの設備も事前にご確認ください。
・ハンドル型モデル
ハンドル型電動車椅子については、鉄道会社各社でルールを策定しています。ご利用を希望する鉄道会社へお問合せ下さい。

Q.バスに乗れますか？

・椅子型モデル
20ページの取り扱いマニュアルをご活用ください。
・ハンドル型モデル
バスでの利用はできません。回転半径が大きく、直角の通路を通過する性能がModel C2と比較すると低いためバスの乗降には適しておりません。

Q.保管場所について教えてください。

・雨がかからないように屋根のある場所で保管してください。集合住宅にお住まいの方で、共用スペースで保管する場合には、各管理会社へお問い合わせください。
〈保管例〉


ガレージに置く


玄関の外に置く


マンションの
廊下に置く


駐輪場に置く

Q.利用者さんの運転/判断能力が心配なのですが。

・導入前に、福祉用具専門相談員（貸与事業者）が安全運転適合確認書にて判断いたします。また、実際の外出ルートを確認し、避けるべき箇所がないかなど確認を行います。万が一危険だと判断した場合は、貸出をしない場合もございます。
・半年に1度のモニタリングの機会に、変化がないか確認します。気になることがあれば、モニタリングの機会を待たず対応しますのでお気軽にご相談ください。
・詳しくは21ページの安全運転適合確認書をご確認ください。

Q.モニタリングではどんなことをするのですか？

・電動車椅子に異常がないか確認を行います。
・あわせて、利用者様の利用状況のヒアリング、外出ルートの気になる箇所の確認、用具の変更などご相談に乗ります。モニタリング結果を、サービス計画の作成・変更にご活用ください。
・詳しくは22ページの点検整備記録書（モニタリングシート）をご確認ください。

Q.例外給付にはどんな手続きが必要なのですか？

・軽度者に対する電動車椅子の貸与については、「日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者」とケアマネジャー等が判断した場合は、市町村への確認依頼は不要です。
・市区町村によっては、主治医の診断書/意見書の提出が必要なケースがあります。利用者様にて、通院の際に主治医から意見書をもらいケアマネジャー様へ渡すとスムーズです。
・詳しくは8ページをご確認ください。

Q.利用者さんが怪我をしたらと心配です。

・貸与事業者が対物対人保険に加入しているケースが一般的です。詳しい保障内容は事業者へご質問ください。
・介護保険レンタルではなく、自費購入でウィルをご利用の場合には、保険・ロードサービスを含むパッケージサービス"WHILL Smart/Premium Care"を契約可能です。詳しくは「WHILL Smart Care」で検索してください。

Q.利用者さんの身体に合うか心配です。

・お身体に合わせてフィッティングが可能です。また、様々なアクセサリーも介護保険レンタルで提供しています。
・詳しくは28ページをご確認ください。

Q.WHILL社は日本のメーカーですか。

・はい、本社は東京です。日本にて製品企画・開発を行っています。

Q.もっと詳しく相談したいのですが。

・ウィルコンシェルジュデスク0120-696-527（通話料無料、平日9-18時）までお電話ください。